

### 3. 市民研修ダイジェスト



#### ●やねだん ～村おこしの実践から学ぶ～●

5月20日に第1回市民研修を開催しました。今回は、鹿児島県鹿屋市柳谷、通称「やねだん」の公民館長・豊重哲郎さんを講師に迎え、「行政に頼りすぎないまちづくり」についてご講演いただきました。講演後には、市民のみなさんにアンケートを記入していただき、豊重さんより10年後の半田へメッセージをいただきました。

#### やねだんはこんな地域

豊重さんが55歳でやねだんの公民館長になってから、やねだんは変わり始めました。「やねだんに住んでみたいと思える地域づくり」「楽しく地域づくり」をモットーに、本当の地域づくりを10年以上行ってきました。行政に頼らず、不満・不備・不快なことを地域で解消していくことが本当の地域づくりだと豊重さんは言います。豊重さんの、リーダーとしての責任感と地域を変えてみせるという強い想いと行動力が、地域の人たちの心を動かしていきました。

やねだんの取り組みはいつもユニークでその一つひとつに目的があります。高校生の朗読による母の日・父の日のメッセージ放送、土着菌を利用した家畜のふんの悪臭改善や芋焼酎の開発、空き家を改装し芸術家に提供するなど、やねだんは地域のみんで汗を流し、体験し、感動を生むことで子どもからお年寄りまでみんなが笑顔で元気に、地域の中で生き活きと暮らしています。

地域づくりの要は、  
人の出番をつくること！



鹿児島県串良町柳谷公民館長  
豊重哲郎氏

#### 豊重さんの想い

地域再生には「和」が大切です。人口約300人のやねだんでその「和」に入らず外を向いている人にアプローチすることが私の役割です。人生は旬で、子どもからお年寄りまで誰もがスポーツマンで地域のレギュラーです。出番を引き出して、地域のみんで体験し汗を流すことが「快話」を生み「和」が生まれるのです。

### やる気をおこせば必ず「きせき」が起きる！

アンケートは地区ごとに貼り出し、地域のみなさんに見てもらいました。地区によって様々な声が寄せられました。



## ●パートナーシップのまちづくり～市民と行政の協働実践から学ぶ～

8月4日、地域福祉計画市民研修を行いました。

今回は、長野県・茅野市長の矢崎和広氏をお招きし、「パートナーシップのまちづくり」というテーマでご講演いただきました。また、特定非営利活動法人りんりん理事長・村上眞喜子氏と日本福祉大学・原田正樹氏を交えたパネルディスカッション「半田らしい地域福祉計画とは」が行われ、市民のみなさんからの声もいただき、活発な意見交換が行われました。



みんなで一緒に汗を流して  
つっていき地域福祉



長野県 茅野市長 矢崎和広氏

茅野市では地域福祉計画を策定し、「実践する提言集団」として市民と行政が対等な関係でまちづくりをすすめています。地域福祉計画は策定することを目的にするのではなく、策定する中でどのような提言を行い、策定後どう実践していくかが大切だということを学ばせていただきました。市民、行政、社協それぞれにできることを考え実践していくために、みんなで一緒に考え、安心して暮らせる地域をつくっていきましょう。

## ●みんなちがってみんないい●

～みんなが楽しく半田で暮らすために～

8月20日、市民交流センターで子どもミーティングを開催しました。今回の市民研修には、兵庫県西宮市から玉木幸則さんをお招きしました。前半は玉木さんのお話を聞き、後半はグループに分かれて半田のまちについてお友達と一緒に考えました。

障がいがあってもそうでなくても、みんなが半田のまちで楽しく幸せに暮らしていくにはどうすればいいんだろう？

地域には色んな人がいて当たり前。でも、障がいという言葉だけで判断するのではなく、その人とふれあっていくことが大切だと玉木さんは教えてくれました。

玉木さんの楽しいお話を  
大盛り上がり



メインストリーム協会

玉木幸則氏

**幸せって誰が決める？**

周りがいくら元気で顔がかっこいいと思っても、その人が幸せでないと思ったらその人は幸せではないんよ。からだが不自由でも「あぁ、生まれてきてよかったな。半田に暮らしてよかったな。」と思える暮らしが大切なんよ。